

# 続縄文時代遺跡出土の人骨の歯に付着した歯石の残存デンプン粒

渋谷綾子（東京大学史料編纂所）

Ayako Shibutani (Historiographical Institute, the University of Tokyo): Starch Grains of Human Dental Calculus from the Epi-Jomon Sites




**研究目的** 北海道の続縄文文化の遺跡出土人骨に付着した歯石に対する分析結果から，植物食の実態を検討する

**調査遺跡**


- 分析事例の蓄積
- 複数の遺跡，異なる性別・年齢を対象

遺跡の特徴




- 残存デンプン粒の植物同定
- 続縄文文化の植物食の実態解明

植物性食料



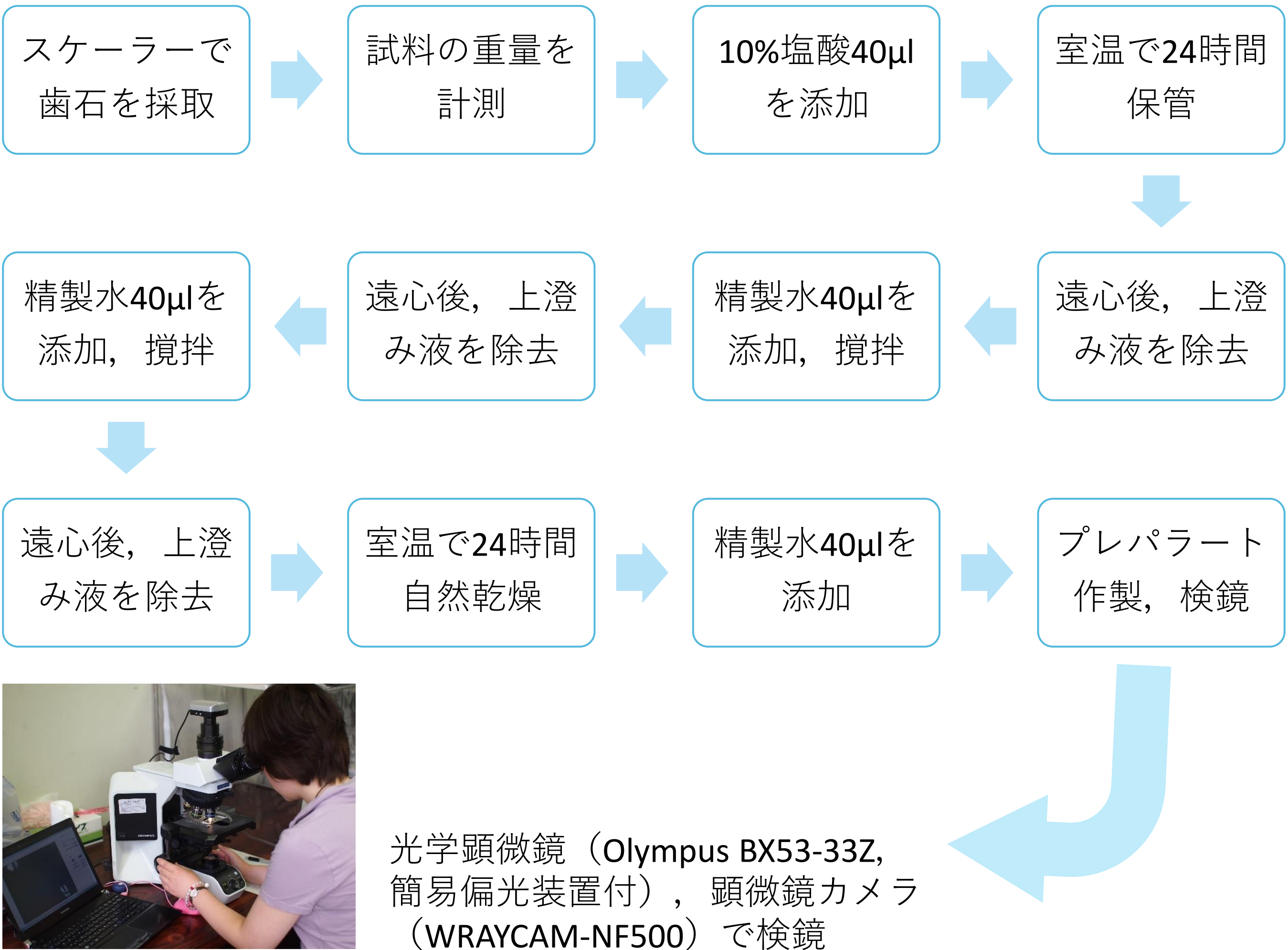
- 人骨の歯石のデンプン粒残留条件の検討

タフォノミー





歯石の分析方法



調査資料

**有珠モシリ**：人骨6個体・歯石試料9点

4号：左下顎M3，I1；右上顎I1，I2  
7(1)号：右下顎I2；左下顎M2  
13号：右上顎M2，M3；右下顎M2；左下顎M1，M2  
14号：右上顎C，P1  
16号：左下顎I1；右下顎P2，左下顎M2  
17号：右下顎P2；左下顎M2

**礼文華**：人骨3個体・歯石試料3点

EPJ-73（A 棚19）：右下顎P1，M1  
EPJ-73（B 棚19）：左下顎P2，M1，M2  
EPJ-71 棚192：右上顎M3，左上顎P1，M1，M3

**有珠オヤコツ**：人骨4個体・歯石試料6点

GP021 D：M2  
GP021 H：右下顎M1，M2  
GP016：右上顎M2，M3；左上顎M2；右下顎M1；左下顎M2  
EPJ-52：右下顎M1；左下顎M2

**オンコロマナイ**：人骨2個体・歯石試料2点

1号EPJ-63（棚19，男性）：右下顎M1，左下顎P1，P2，M1，M2  
V号EPJ-64（棚19，女性）：左下顎P1，P2，M1，M2，M3

**オシオンナイ2**：人骨1個体・歯石試料1点

EPJ-33（棚19）：右上顎P1，M1

遺跡の居住者たちは  
堅果類や根茎類，イネ科種子  
を食していた

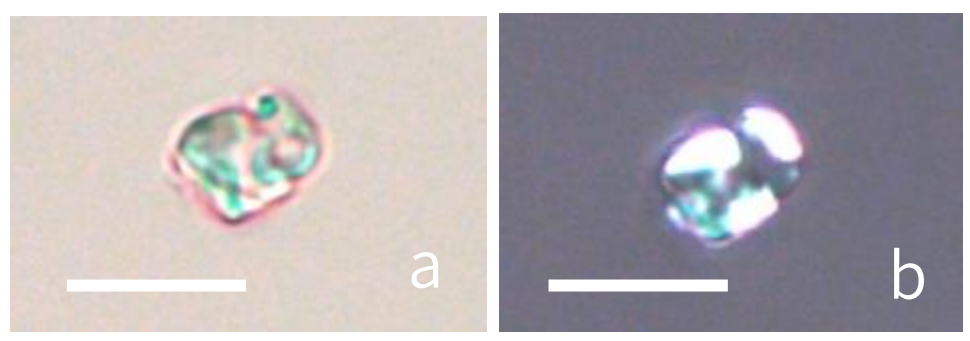


説明の詳細はQRコードにアクセスしてください  
Contact: ashibutani@hi.u-tokyo.ac.jp

分析結果（概要）

遺跡名	資料番号	歯石試料				残存デンプン粒				候補となる植物
		右上顎	左上顎	右下顎	左下顎	外形	縦径 (µm)	横径 (µm)	偏光十字	
有珠モシリ	4号墓				M3, I1	分解デンプン粒 (膨張)			消失	不明
有珠モシリ	13号墓			M2	M1, M2	楕円形	18.38	14.62	中央十字	検討中
有珠モシリ	13号墓			M2	M1, M2	楕円形	16.88	13.78	消失	検討中
有珠モシリ	17号墓			P2	M2	楕円形	23.63	27.68	中央十字	根茎類？
有珠オヤコツ	GP021 D			M2		五角形？	6.3	8.16	中央十字	イネ科？
有珠オヤコツ	GP021 D			M2		分解デンプン粒 (膨張)			消失	不明
有珠オヤコツ	GP016	M2	M3			半楕円形	16.97	17.69	卍状	堅果類？
礼文華	EPJ-73 (A 棚19)			P2,M1		分解デンプン粒 (膨張)			消失	不明
礼文華	EPJ-73 (A 棚19)			P2,M1		楕円形	19.74	14.26	中央十字	根茎類？
礼文華No.1	EPJ-71 棚19	M3	P1,M1,M3			半楕円形	11.22	10.71	逆卍	イネ科？
礼文華No.1	EPJ-71 棚19	M3	P1,M1,M3			分解デンプン粒 (被熱の膨張)			消失	不明
オンコロマナイ1号	EPJ-63 棚19			M1	P1,P2,M1,M2	損壊デンプン粒 (半分カケ)			逆卍？	不明

検出例：有珠オヤコツ GP021 Dのデンプン粒



\*x400；a：開放ニコル，b：直交ニコル；スケールバーは10µm

歯石からの検出  
>> 摂取量は不明だが，イネ科を食した可能性

【謝辞】 本研究は，科学研究費補助金基盤研究(B)「狩猟採集文化と農耕文化の接触による社会の変容と地域的多様性に関する学際的研究」(No. 18H00749，研究代表：青野友哉)の成果の一部である。研究に際し，共同研究者をはじめ，ご教示・ご協力をいただいた多くの関係者・諸機関，ポスター作成方法にご助言いただいたBen Marwick氏（University of Washington）に深く感謝申し上げます。

